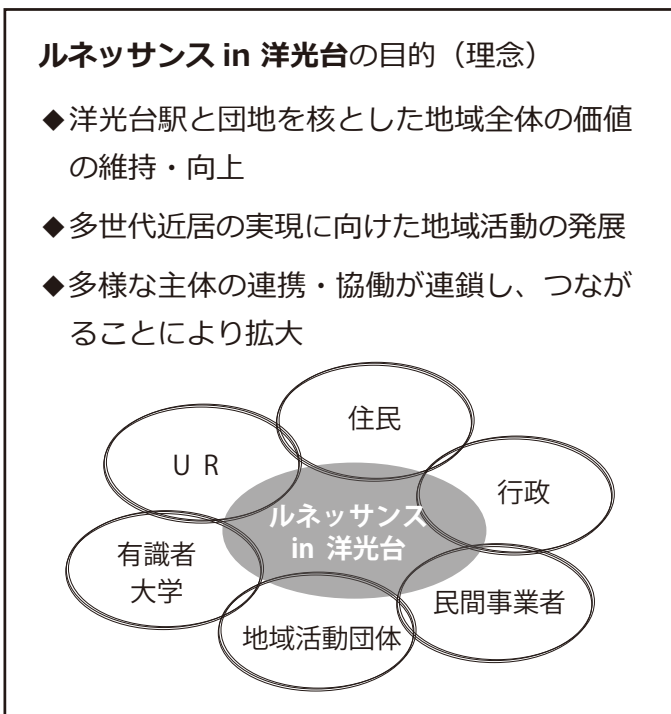


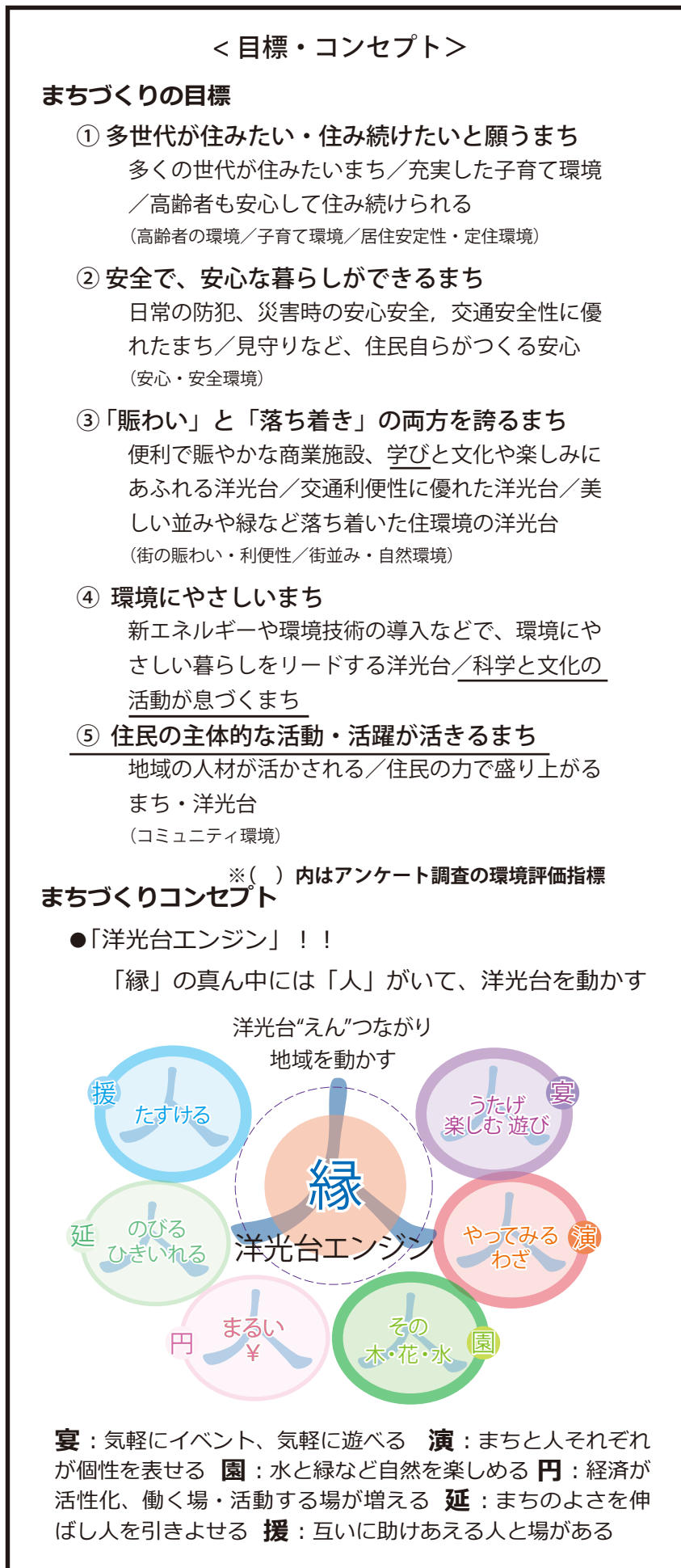


地区の現状と課題

- まちの成り立ち
 - ・昭和 45 年入居開始のニュータウン（区画整理事業）
 - ・横浜 20 分程度、都内へ 1 時間程度と利便性が高い。
- まちの資源
 - ・ゆったりした街並み、広い街路、多くの公園など都市基盤の充実
 - ・地域活動も活発であり、人的資源に恵まれている。
- 地域特性
 - ・国調 H17→H22 の5年間で、年少人口比率 12.3→11.5% / 高齢化率 22.4→27.1%。同時期に横浜市は年少 13.5→13.2% / 高齢 16.9→20.1%(+3.2)。また高齢夫婦のみ世帯や単身世帯が増。
 - ・世帯数約 1 万。分譲賃貸合わせ団地 6 千戸で公的賃貸住宅比率が 4 割と高い。戸建住宅は 2 千戸。
- 居住者ニーズ（アンケートより分析）
 - （地域の賑わいが失われつつある／落ち着きある住宅地環境の維持／図書館や福祉施設等サービスの不足・・・）

【課題まとめ】

- ・居住者の高齢化、若年層の減少への対応
- ・団地・戸建て住宅等建物やインフラ経年化への対応
- ・地域資源の更なる有効活用
- ・地域活動の担い手の更なる拡充、自助・共助の拡大
- ・地域内での活動の場、働く場の充実



- < 取り組み項目 >**
- ① 多世代居住推進**
- (1) 多世代交流・コミュニティ支援
 - ・空き家・空き住戸・空き店舗を活用した活動拠点と運営体制づくり
 - ・交流・コミュニティを支えるネットワークづくり
 - (2) 住替え・若年層の流入
 - ・多様な住宅ストック誘導、民間事業者の参入促進
 - ・地域内住替えの推進・支援、若年層への PR
 - (3) 介護・高齢者支援
 - ・拠点施設と連携した在宅サポート体制の充実
 - ・リフォーム・介護・移動支援などを総合的にサポートをする体制づくりと情報提供
 - ・地域での見守り、「縁」を育むつながりづくり
 - ・介護予防等、健康で元気に暮らせるためのサポート
 - (4) 子育て支援
 - ・子育て環境を総合的に点検、課題の共有化
- ② 防災（安心安全）**
- (5) 防災・防犯対策
 - ・防災拠点機能の整備
 - ・ハード面での防災性能の向上
 - ・地域の自主的活動の更なる促進、若年層の参加促進等
- ④ エネルギーマネジメント**
- (9) 環境・エネルギー
 - ・太陽光活用や新モビリティの導入、省エネ化等
 - ・災害時の補助電源の確保
- ③ 駅前再編・景観形成**
- (6) まちの賑わい
 - ・魅力的で活気のある駅前地区づくり 等
 - (7) 利便性
 - ・駅前機能の向上、地域のアクセシビリティ向上 等
 - (8) 住環境保全・景観・自然
 - ・景観維持、空き家の管理、まちづくりルール等
- ⑤ その他地域の価値を維持・向上させる取り組み**
- (10) エリアマネジメント
 - (11) 地域循環経済・地域ビジネス
 - ・地域ニーズに応えるサービスを地域の力で提供

